

KAS

Cotton Up



こっとなあつぷ

Vol. 108



誰ひとり欠けても困ります！それぞれの役割のおかげで、
毎日清潔な食堂でおいしい昼食がいただけます。感謝！！

目次

- ・「WDSN31 (Watage Daily Support News) ～点の力と結ぶ力～」 <2～4 ページ>
- ・新任紹介 <4 ページ>
- ・ものとらっくまるちとらっく <5 ページ>
- ・ボランティアさん大募集中！！ <6 ページ>
- ・編集後記（編集部） <6 ページ>

発行人 神奈川県自閉症児・者親の会連合会

代表者 内田輝雄 〒243-0035 厚木市愛甲 2-11-6-109

（毎月1回15日発行） 購読料1部 15円

WDSN (Watage Daily Support News) 31 ～点の力と結ぶ力～

ふぁずは目の前が海岸に面しています。昼食時、午前の仕事を終えた利用者さんから、波音をBGMに食事をします。そんなパノラマビュー食堂の清掃は、これまでは3人の利用者さんの力を借り、床の掃除機掛け、食事前の机拭き、食事後の机拭きを行っていました。

そこに7月から新たに2名の助っ人が登場しました。2名の助っ人には出入り口部分の床の掃除機掛けと机運びを担ってもらいました。

【机運び(清掃しやすいよう机を端に運ぶ)】

助っ人1人目は一ツ谷さん。一ツ谷さんには机運びを担ってもらいました。床を掃除機掛けする時に、机があると掃除機を万遍なく掛ける事は困難です。合計4卓の机を、掃除機を掛ける場所(畳とフローリング)からカーペット上に移動させてもらいます。



活動初日、一ツ谷さんにはどこで・何をするのかをお伝えする為、食堂の机の写真カードを一ツ谷さんに手渡し、「机を運びます」と、写真カードの内容を説明する声を掛け、活動エリアから食堂まで職員と一緒に移動しました。

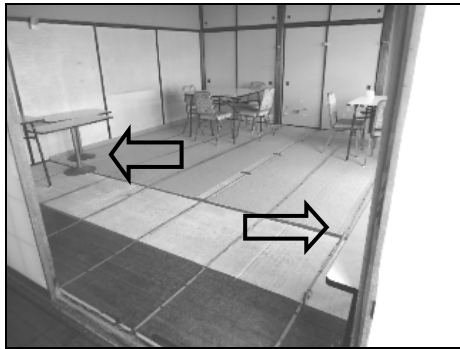
食堂に到着し、最初に運ぶのは大きな机です。一人では持てないので、一ツ谷さんと職員の2名での作業です。一ツ谷さんも職員が机を示すと、机を運ぶことを理解した様子。いよいよ作業開始です。

いざ机を運ぶと、一ツ谷さんは職員よりも机を高く持ち上げてくれ、一ツ谷さんに誘導されるように1つ目の机を運びました。2つ目、3つ目の机は大きな机の半分ほどの大きさです。

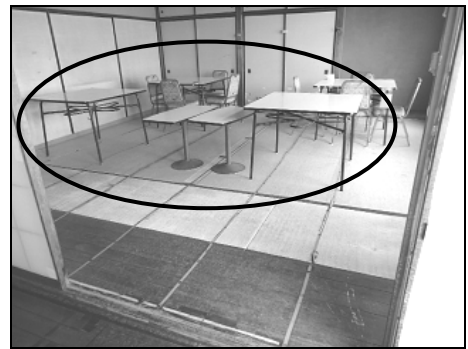
一ツ谷さんならと期待して、職員が小さな机がある場所に立つと、自分から机を運び、最初に運んだ大きな机の隣に置いてくれました。1つ目の机を運んだことで、どこに机を移動させるのか、瞬時に理解している様子でした。3つ目も同じようにして2つ目の机の隣に運んでくれました。最後、4つ目の机は大きな机です。1つ目と同じように職員と2名で運びました。ここでも力のない職員を助けてくれているのか、職員よりも高く持ち上げ、3つ目の机の隣に運んでくれました。

2日3日と続けていくうちに、初めは食堂へ移動する声掛けが必要であったのが、写真カードを手にとると、自ら食堂へ移動するようになっていきました。今では毎日、一ツ谷さんの役割として、活動内容を十分理解し、積極的に取り組んでくださっています。





通常の食堂の様子
(左端に3つ、右端に1つ、机があります)



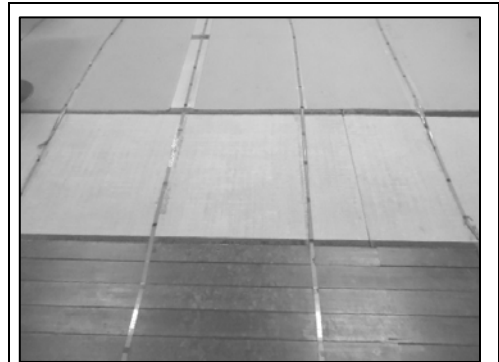
運んだ後の様子

【 掃除機掛け（食堂出入り口の清掃） 】

机を運び終わると、次は掃除機掛けです。今回掃除機を掛けるエリアは食堂出入り口部分のため、どうしても埃が溜まりやすい場所です。そこで2人目の助っ人、石井さんに力をお借りしました。

石井さんは写真カードを使用した半日のスケジュールを使っています。掃除機掛け最初の日、当日のスケジュールに食堂で掃除機を掛ける事を示した写真カードを貼り付けました。掃除機掛けの時間になると、カードを手に取り「そうじ」と言いながら、食堂に移動していました。職員が掃除機を出すと、過去にも使っていた掃除機であるためか、自分から電源コードを伸ばし、スイッチを押していました。

今回、清掃エリアを伝達する為、他の利用者さんが使用している視覚情報を用いました。写真のように、他利用者さんの掃除機掛けの視覚情報はカラーテープで幅が区切っており、石井さんの掃除機を動かす幅にもちょうど良い具合だったのです。また、出入り口にはフローリングの部分と畳の部分（青色のカーペットがひいてあり、ちょうど畳1枚分見える）があり、カーペットの端からフローリングの部分までを掃除機を掛ける範囲としてモデルを示しました。



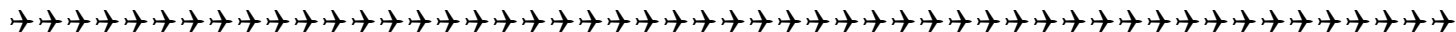
**上から、カーペット、
畳、フローリング**



職員が掃除機を掛ける範囲と掃除機の動かし方のモデルを示した後、石井さんに掃除機をお渡ししました。すると左の写真のようにノズルをしっかりと持ち、畳部分からフローリング（左から右）へと移動しながら、カラーテープを目印としながらノズルは前後に動かして（動かす幅は均一）掃除機掛けを行っていました。

- ① 机を動かす（一ツ谷さん）
- ② 食事前の机拭き
- ③ 出入り口の清掃（石井さん）
- ④ 食事後の机拭き
- ⑤ 食事後、床全体の掃除機掛け

東川 奏



・ 新任紹介 ・



家族は夫と高校生の娘2人と中学生の息子2人の6人家族で、毎日1升のご飯を食べきってしまう大食い家族です。今まではいつも同じようなメニューでしたが、こちらで勤務させていただくようになってからは、家族から「おかずのレパートリーが増えたね～」と言われるようになりました。



宜しくお願いします。



たんぽぽよこすか ものとりつくまるちとらつく

No. 56

このコーナーでは、毎月「横須賀たんぽぽの郷」最新ニュースをトピックスでお伝えしていきます。

篁一誠先生 来所

8月8日(金)篁一誠先生(PDDサポートセンターグリーンフォレスト)に、わたげの利用者や支援の様子をご覧いただき、夕方にケース会議を行いました。

職員の、水を飲むことが多い方への支援方法についての質問に対し、最初の1回を止められることで、必要以上にその行動が長く続いてしまうことがある。周囲が関わり過ぎることで、なんとしてもやろうとして、目を盗んで素早くやるようになることもある。ただし、すべての行動に対してそれが当てはまるとは言えないので、その見極めは支援のカギであり難しいところである。福祉の現場では、支援者が何もしていない状況に罪悪感のようなものがあり、仕事をしていないという評価になってしまうことがあると思う。しかしそうして必要以上に関わることが、場合によっては、利用者にとってはおせっかいをされているだけになってしまうこともある。見守り、行動の回数、場所、周囲の状況、天候等々、詳細を観察し記録に取ることは大切な仕事である。時には、あえてただ見守るという支援をしてほしい。そして職員間で、何のために見守っているのかという共通理解を持てば良いとお話されました。

問題となる行動を前にし、ただ見守るというのは確かに勇気のいることですが、先生のお話を念頭に置き、記録を基に、ご本人にとって最適な支援を、複数の支援者やご家族と検討していけるよう、より一層記録を大切にしていきたいと感じました。

広瀬宏之先生 来所

7月25日(金)広瀬宏之先生(横須賀市療育相談センター所長)に来所いただき、ケース会議を行いました。

職員が、通所後一定時間、歩き回るなど動き続ける方への支援について質問した際、先生は、そのような行動は一般的には「落ち着かない行動」とされてしまうが、本人にしたら「落ち着くための行動」である。支援者は、その動きを止めよう、コントロールしようとしてしまいがちだが、行動の裏にある本人の気分、気持ち、背景等を把握するように努めなければならないとお話されました。

また、眠気の強い方への適切な支援方法、原因の追究方法を質問した際には、上記と同様に、「寝る」という行動にも本人なりの理由がある。まず思いつく、寝不足や疲れという他、退屈を感じている時、頭が混乱してしまうほどの取り返しのつかないことをしてしまった時やあまりにつらい事があった時に、脳や不快な気分をリセットさせようとする等、さまざまな理由が考えられること、さらに、食事や水分摂取の状況、服薬の内容など、身体面や医療面、生活スタイルなど、幅広い視野で考えていく必要があることを教えて下さいました。

利用者の方々の行動には常に理由があり、時には周囲に自分の気持ちや状況を知らせようとしてくれている行動であることを忘れず、行動の背景を捉えるよう努め、問題の軽減方法、解決方法を提案していける職員でありたいと改めて感じました。

たんぽぽの郷後援会のご案内

たんぽぽの郷後援会は、横須賀・三浦地区に在住の「自閉症」という障害を伴った人たちが、ともに生きる仲間として、地域で生活していくために必要な援助に取り組んでいる【社会福祉法人横須賀たんぽぽの郷】の活動を支援する事を目的に組織されました。

▼ 年会費	個人会員	1 口	3, 0 0 0 円
	団体会員	1 口	1 0, 0 0 0 円

たんぽぽの郷後援会にご理解、ご協力くださる方は、下記の郵便為替口座をご利用ください。

郵便為替口座番号 00240-9-17474

郵便為替口座加入者名 たんぽぽの郷後援会



ボランティアさん 募集中

わたげ・ふあず・こっとなはうすで

自閉症を伴う方々と一緒に何か活動してみませんか？

作業の検品、余暇活動の支援、清掃等

お手伝いをしていただける方がいましたら、ご連絡ください！！

〈連絡先〉

わたげ 電話：046-844-0038 （担当：かいえだ）

E-mail：aaq40690@hkg.odn.ne.jp

ふあず 電話：046-888-3961 （担当：しょうじ）

E-mail：adz13970@ams.odn.ne.jp

こっとなはうす 電話：046-852-8355 （担当：いもうじ）

E-mail：tanpoponosato-ch-rg250e@jcom.home.ne.jp



編集後記 ～編集部～

最近では、今年最大級の台風 18 号が首都圏を直撃し、各地の被害が報道されました。私たちの生活に大きな影響を及ぼす台風、その台風には 1 つ 1 つ名称があります。皆さん、台風の名称は誰が決めているのかご存じでしたか？従来では米国が英語名で人名を付けていたそうです。しかし、2000 年から各国が出し合った 140 個の名前を順番に用いて名称に使っているとのこと。再び同じ名称が使われるのには、約 5 年の月日が掛かるとか。日本が名称した台風の名前は星座です。今年の 17 号は「カンムリ」というカンムリ座を意味した日本が名称した台風でした。各国、様々な意味を持つ名称を付けていますが、出来ることなら発生して欲しくないものです。

さて、台風と言えば、自閉症との関係性を良く聞きます。実際にも感覚が過敏な彼らが気圧の変化を察知し、何らかの不快を上手く伝えることが出来ずに困っています。私たちは、その不快を取り除くことは出来ませんが、行動を最小減に導く支援は出来るのではないのでしょうか。これからも、発生する台風に立ち向かう支援者として頑張っていきます。

高橋

編集 社会福祉法人 横須賀たんぽぽの郷 〒239-0824 横須賀市西浦賀 3-13-21

TEL:046-844-0038/FAX:046-844-0036 E-mail:aaq40690@hkg.odn.ne.jp